

価値創造プロセス | 「理念でつながる多様な人材の現場力」と「社会に信頼されるブランド力」を磨き上げる | 2025-2028年度中期経営計画の進捗
 財務戦略 | **サステナビリティマネジメント** | 人材戦略 | 特別対談：「食と健康」で共に高みへー12年間の絆が描く、ウェルネスな未来へ

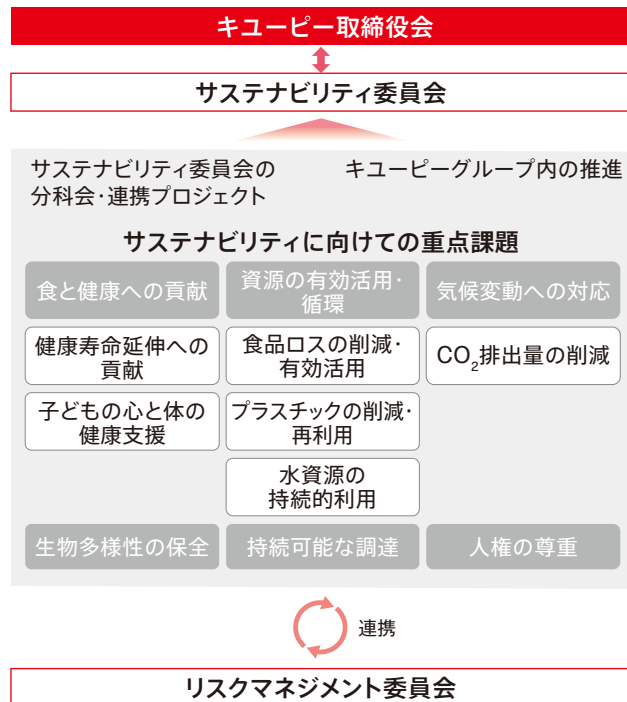


サステナビリティマネジメント

キューピーグループは、「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって世界の食と健康に貢献することで、社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現とグループの持続的な成長をめざしています。「キューピーグループ サステナビリティ基本方針」をはじめとした各種方針に基づき活動を推進し、また2025-2028年度中期経営計画を機に、脱炭素社会の実現、循環型社会の構築、生物多様性の保全を柱に「キューピーグループ 環境ビジョン2050」を策定しました。サステナビリティマネジメント <https://www.kewpie.com/sustainability/management/>

サステナビリティ推進体制

担当取締役を委員長としたサステナビリティ委員会を設置し、サステナビリティ目標の達成に向けた方針・計画策定、取り組みを推進しています。また、リスクマネジメント委員会とも連携し、環境変化への対応、経営基盤の強化を進めています。



サステナビリティ目標・進捗

重点課題	取り組みテーマ	指標	2025年度実績			2028年度目標			2030年度目標			進捗イメージ
			2025年度実績	2028年度目標	2030年度目標	2025年度実績	2028年度目標	2030年度目標	2025年度実績	2028年度目標	2030年度目標	
食と健康への貢献	健康寿命延伸への貢献	お客様の健康な食生活に貢献するため、サラダの喫食機会向上、タマゴの付加価値化を中心に取り組みを推進										
	子どもの心と体の健康支援	私たちの活動で創る子どもの笑顔の数 (2019年度からの累計)	60.3万人	80万人以上	100万人以上							
資源の有効活用・循環	食品ロスの削減・有効活用	食品残さ削減率(2015年度比)	61.4%	63%以上	65%以上							
		野菜未利用部有効活用率 主要野菜：キャベツなど(当年)	84.3%	88%以上	90%以上							
	プラスチックの削減・再利用	商品廃棄量削減率(2015年度比)	53.1%	70%以上	70%以上							
気候変動への対応	CO ₂ 排出量の削減	プラスチック排出量削減率(2018年度比)	26.9%	25%以上	30%以上							
		水資源の持続的利用	水使用量(原単位)削減率(2020年度比)	9.7%	8%以上	10%以上						
生物多様性の保全	生物多様性の保全	CO ₂ 排出量削減率(2013年度比)	50.6%	46%以上	50%以上							
		持続可能な紙の調達率2025年度までに100% (容器包材、印刷冊子、販促物、事務用品)	100.0%	100%	100%							
持続可能な調達	持続可能な調達の推進	お取引先との協働によって「持続可能な調達のための基本方針」を推進										
人権の尊重	人権の尊重	ビジネスに関わるすべての人の人権を尊重するために「キューピーグループ 人権方針」を推進										

※「食品残さ削減率」の指標には「野菜未利用部有効活用率」も含まれています。 ※サステナビリティ目標は国内の数値となっています。
 ※2025年度より「健康寿命延伸への貢献」の指標を変更しています。
 ※2025年度より「CO₂排出量削減率」について、基準年の算出データの見直しを行い遡及適用後の数値となっています。



重点課題と取り組み 従業員一人ひとりが、サステナビリティの意識と視点を持ち、キユーピーグループの理念と規範の実践により、目標達成に向けて取り組んでいきます。



食と健康への貢献

健康で豊かな暮らしの実現のため、国内外のお客様に寄り添った商品やサービスの提供、また健康寿命延伸への貢献と子どもの心と体の健康支援や社会貢献活動などに取り組み、一人ひとりのウェルビーイングに貢献します。

取り組み

—健康寿命延伸への貢献 [P.31](#) [P.32](#) [P.40](#) [P.43](#)

—子どもの心と体の健康支援 [P.46](#)

詳しい内容はこちら

<https://www.kewpie.com/sustainability/dietary-lifestyle/>



資源の有効活用・循環

「環境方針」に基づき、バリューチェーン全体で環境負荷低減を推進しています。「環境ビジョン2050」では循環型社会の構築を柱に掲げ、限りある資源を大切に使い、地球環境の持続可能性に配慮した取り組みを推進しています。

取り組み

—食品ロスの削減・有効活用 [P.38](#)

—プラスチックの削減・再利用 [P.32](#) [P.38](#)

—水資源の持続的利用

詳しい内容はこちら

<https://www.kewpie.com/sustainability/eco/>



気候変動への対応

脱炭素社会の実現に向け、企業はより責任ある行動が求められています。CO₂排出量削減のため、バリューチェーン全体において省エネルギーやエネルギー転換などに取り組み、国内グループでCO₂排出量削減目標を設定、気候変動への対応を推進しています。

取り組み

—再生可能エネルギーの活用 [P.38](#)

—生産における取り組み

—物流における取り組み [P.36](#)

—オフィスにおける取り組み

詳しい内容はこちら

<https://www.kewpie.com/sustainability/climate-change/>



生物多様性の保全

豊かな自然環境と密接な関わりをもっている当社グループの事業活動において、生物多様性の損失は重大な課題であると認識しています。原料を生み出す自然の恵みに感謝し、生物多様性の負の影響を最小限に抑え、環境保全と生態系の回復・再生に努めネイチャー・ポジティブをめざします。

取り組み

—持続可能な紙の調達

詳しい内容はこちら

<https://www.kewpie.com/sustainability/nature/>



持続可能な調達

私たちは「良い商品は、良い原料からしか生まれない」という原料に対する強いこだわりを持っています。しかし、今や品質だけではなく、環境や人権に与える影響にも配慮する必要があり、持続可能性を高め、良い原料を調達できることにつながると考え、お取引先と一緒に「持続可能な調達のための基本方針」に基づき、さまざまな取り組みを推進しています。

取り組み

—サプライヤーエンゲージメントの強化 [P.29](#) [P.35](#)

—アニマルウェルフェアの取り組み [P.36](#)

詳しい内容はこちら

<https://www.kewpie.com/sustainability/procurement/>



人権の尊重

社は「楽業偕悦」の実践には人権尊重が不可欠であるという認識のもと、「キユーピーグループ人権方針」を定めています。事業活動に関わるすべての人の人権を尊重するため、自社従業員が働きがいを持てる環境を整備するだけでなく、サプライヤー等のビジネスパートナーとも連携し、バリューチェーン全体で負の影響を防止・軽減する責任を果たします。

取り組み

—人権デューデリジェンスプロセスの実行

—従業員意識調査と教育 [P.24](#) [P.25](#)

—実効性のある通報窓口の運用

—サプライチェーンでの人権管理

詳しい内容はこちら

<https://www.kewpie.com/sustainability/human-rights/>